

意な関連ありとして分析した。

調査票から抽出した項目

- ①出産場所
- ②母児同室の有無
- ③妊娠・出産についての状況
- ④妊娠・出産について満足している項目
 - ・「いいお産」に向けての自分自身の頑張り（妊娠中）
 - ・「いいお産」に向けての自分自身の頑張り（お産）
 - ・産科施設に関する情報
 - ・専門職（産婦人科医，小児科医，助産師，その他）による継続的な関わり
 - ・産婦人科医の技術
 - ・産婦人科医の指導・対応
 - ・助産師の技術
 - ・助産師の指導・対応
 - ・産婦人科医，助産師以外の産科施設スタッフの技術
 - ・産婦人科医，助産師以外の産科施設スタッフの指導・対応
 - ・保健センター・保健所等のサービス
 - ・夫の理解や対応
 - ・その他の家族・親族の理解や対応
 - ・友人の理解や対応
 - ・職場の理解や対応
 - ・社会の理解や対応
 - ・妊娠中の受動喫煙への配慮
- ⑤次のお子さんを産みたいと思いますか。
- ⑥生後1か月時の栄養法はどうでしたか。
- ⑦現在の子育ての状況はいかがですか。

B. 結果

1) 妊娠・出産及び子育て満足度及び次の妊娠希望の現状

1. 妊娠・出産の満足度の現状

「とても満足している」(38.2%)「満足している」(56.0%)「あまり満足していない」(5.3%)「全く満足していない」(0.5%)「満足している」以上の割合が95%近くを占めている。

2. 子育て満足度の現状

「満足している」(42.8%)「まあ満足している」(51.4%)「あまり満足していない」(5.2%)「満足していない」(0.6%)「まあ満足している」を加えると、「満足している」のが全体の94.2%と高い割合を占めている。

3. 次の妊娠希望の現状

「産みたい」(36.2%)「どちらかといえば産みたい」(24.6%)「どちらかといえば産みたくない」(19.5%)「産みたくない」(19.7%)であり、産みたいが、「どちらかといえば」を含めると、60.8%と過半数を超えたが、妊娠・出産や子育て満足度の高さに比して低い状況であった。

2) 妊娠・出産満足度と各要因との関連

1. 出産場所について

数は少ないが「助産所」の「とても満足している」(75.0%)が最も高く、続いて「診療所」(40.0%)となり、「病院」(36.6%)が最も低い結果となり、有意差が認められた

2. 母児同室について

「24時間同室」の「とても満足している」(40.8%)が最も高く、続いて「一部同室」(36.2%)「別室」(34.1%)の順となり、同室の方が満足度の高いことが有意差をもって認められた。

3. 妊娠・出産時において満足・不満足

だった項目との関連について

以下の項目について、「満足」(以後①)「どちらでもない」(以後②)「少し不満」(以後③)「満足していない」(以後④)の4つにわけ、妊娠・出産に「とても満足している者」の中での割合を見た。

1) いいお産をするための自分自身の頑張り(妊娠中)

①43.8%, ②29.7%, ③23.9%, ④26.9%

2) いいお産をするための自分自身の頑張り(お産)

①42.6%, ②27.1%, ③35.0%, ④18.4%

3) 産科施設に関する情報

①44.2%, ②31.8%, ③43.8%, ④25.5%

4) 専門職(産婦人科医, 小児科医, 助産師, その他)による継続的な関わり

①44.2%, ②32.9%, ③27.8%, ④22.3%

5) 産婦人科医の技術

①41.3%, ②30.5%, ③8.3%, ④16.2%

6) 産婦人科医の指導・対応

①42.5%, ②27.8%, ③15.8%, ④18.2%

7) 助産師の技術

①41.8%, ②29.2%, ③50.0%, ④17.6%

8) 助産師の指導・対応

①42.0%, ②28.0%, ③46.2%, ④17.8%

9) 産婦人科医, 助産師以外の産科施設スタッフの技術

①41.9%, ②30.7%, ③7.1%, ④23.0%

10) 産婦人科医, 助産師以外の産科施設スタッフの指導・対応

①42.4%, ②29.6%, ③16.0%, ④22.3%

11) 産科施設の設備や食事等の快適さ

①41.7%, ②30.3%, ③16.1%, ④28.3%

12) 保健センター・保健所等のサービス

①41.7%, ②33.9%, ③30.8%, ④33.1%

13) 夫の理解や対応

①40.7%, ②30.3%, ③39.5%, ④26.4%

14) その他の家族・親族の理解や対応

①40.3%, ②30.0%, ③33.3%, ④24.0%

15) 友人の理解や対応

①40.6%, ②29.7%, ③37.5%, ④24.4%

16) 職場の理解や対応

①43.0%, ②34.6%, ③33.3%, ④33.0%

17) 社会の理解や対応

①43.9%, ②34.6%, ③39.4%, ④31.7%

18) 妊娠中の受動喫煙への配慮

①41.7%, ②35.0%, ③42.9%, ④35.3%

以上のように、妊娠・出産において「とても満足している」と回答した中で、ほぼ全ての項目において、「満足」と回答した割合が最も高かった。

また、クロス集計による χ^2 乗検定により、全ての項目において、それぞれの満足度の高さが、有意差をもって、妊娠・出産の満足度向上に寄与していることが明らかとなった(表1)。

4. 妊娠・出産について不満と答えた

項目数と関連について

前述した項目のそれぞれではなく、不満と回答した項目数との関連について検討した。

不満数の数が増えればそれにしたがって有意に満足度も低下している。19 項目のうち、数は少ないが不満数が 13 を超えてくるとかえって満足度が上昇するといった傾向が見られるものの、12 までは不満数と満足度の低下の関係が明瞭である。

5. 次の妊娠との関連について

次の妊娠を考えている人の過去の妊娠・出産満足度は、「はい」(47.3%)「どちらかといえば、はい」(35.1%)「どちらかといえば、いいえ」(32.9%)「いいえ」(30.1%)であり、次の妊娠を考えている者ほど、妊娠・出産の満足度が有意に高いことが明らかとなった。

6. 子育ての満足度との関連について

「満足している」(53.6%)「まあ満足している」(27.8%)「あまり満足していない」(15.6%)「満足していない」(11.1%) 子育ての満足度の高いほうが、妊娠・出産時の満足度も高かったことが、有意に認められた。

3) 子育て満足度と各要因との関連

1. 出産場所について

有意な関係性は認められなかった。

2. 母児同室について

「24 時間同室」の満足度 (44.8%) が最も高く、続いて「一部同室」(41.0%)「別室」(40.5%)の順となり、妊娠・出産との関連

ほどではないが、24 時間同室の満足度が高いことが、有意差をもって認められた。

2. 妊娠・出産の満足度の関連

妊娠・出産の満足度における子育て満足度の割合は、「とても満足している」(60.3%)「満足している」(33.0%)「満足していない」(24.1%)「全く満足していない」(34.5%)であり、有意差をもってその関連が認められ、特に「とても満足している」と他の項目では明らかな違いがあった。

3. 妊娠・出産時において満足・不満足

だった項目との関連について

以下の項目について、「満足」(以後①)「どちらでもない」(以後②)「少し不満」(以後③)「満足していない」(以後④)の4つにわけ、子育てにおいて「とても満足している者」の中での割合を見た。

1) いいお産をするための自分自身の頑張り (妊娠中)

①48.7%, ②34.3%, ③23.9%, ④31.0%

2) いいお産をするための自分自身の頑張り (お産)

①45.9%, ②35.1%, ③35.0%, ④29.4%

3) 産科施設に関する情報

①46.7%, ②39.2%, ③37.5%, ④34.1%

4) 専門職 (産婦人科医, 小児科医, 助産師, その他) による継続的な関わり

①47.1%, ②38.7%, ③27.8%, ④32.3%

5) 産婦人科医の技術

①44.7%, ②37.0%, ③41.7%, ④35.3%

6) 産婦人科医の指導・対応

- ①44.9%, ②36.0%, ③38.9%, ④36.6%
- 7) 助産師の技術
①44.2%, ②39.4%, ③30.0%, ④36.6%
- 8) 助産師の指導・対応
①44.2%, ②39.6%, ③23.1%, ④35.8%
- 9) 産婦人科医, 助産師以外の産科施設スタッフの技術
①45.3%, ②37.9%, ③21.4%, ④33.0%
- 10) 産婦人科医, 助産師以外の産科施設スタッフの指導・対応
①45.4%, ②37.9%, ③41.7%, ④31.5%
- 11) 産科施設の設備や食事等の快適さ
①44.6%, ②38.9%, ③36.7%, ④37.9%
- 12) 保健センター・保健所等のサービス
①47.2%, ②38.8%, ③36.0%, ④31.0%
- 13) 夫の理解や対応
①46.3%, ②33.9%, ③37.2%, ④24.4%
- 14) その他の家族・親族の理解や対応
①45.7%, ②32.6%, ③33.3%, ④21.0%
- 15) 友人の理解や対応
①45.3%, ②35.0%, ③37.5%, ④19.2%
- 16) 職場の理解や対応
①47.8%, ②39.7%, ③63.6%, ④35.0%
- 17) 社会の理解や対応
①50.0%, ②39.9%, ③45.5%, ④30.8%
- 18) 妊娠中の受動喫煙への配慮
①48.4%, ②40.3%, ③33.3%, ④35.9%

以上のように、子育てにおいて「満足している」と回答した中で、ほぼ全ての項目において、「満足」と回答した割合が最も高かった。

また、クロス集計による χ^2 乗検定により、

全ての項目において、それぞれの満足度の高さが、妊娠・出産と同様に、有意差をもって子育ての満足度向上に寄与していることが明らかとなった(表1)。

4. 妊娠・出産について不満と答えた項目数と関連について

妊娠・出産時との関連ほど明瞭ではなく多少のばらつきも見られるが、不満数の数が増えればそれにしたがって有意に満足度も低下している。

5. 次の妊娠との関連について

次の妊娠を考えている人の過去の妊娠・出産満足度は、「はい」(52.8%)「どちらかといえば、はい」(38.6%)「どちらかといえば、いいえ」(36.3%)「いいえ」(36.4%) 次の妊娠を考えている者ほど、妊娠・出産の満足度が有意に高いことが明らかとなった。

6. 栄養法との関連について

「母乳」(45.5%)「混合」(40.0%)「人工乳」(44.0%)であり、母乳栄養の方が、子育ての満足度が高く、5%以下の危険率ではあるが有意差が認められた。

4) 次の妊娠希望と各要因との関連

1. 出産場所について

有意な関係性は認められなかった。

2. 母児同室について

「24時間同室」の満足度(38.1%)が最も高く、続いて「別室」(34.8%)「一部同室」(32.4%)の順となり、妊娠・出産との関連ほどではないが、24時間同室の満足度が高いことが、有意差をもって認められた。

3. 次の出産希望と妊娠・出産時の満足度に関する項目との関連

「満足」(以後①)「どちらでもない」(以後②)「少し不満」(以後③)「満足していない」(以後④)の4つにわけ、前述の各調査項目について「次の出産希望」との関連を見た。有意な関係が認められたもののみ以下に記載した。

1) 保健センター・保健所等のサービス

①38.6%, ②33.6%, ③25.9%, ④31.1%

2) 夫の理解や対応

①39.0%, ②27.2%, ③25.6%, ④24.3%

3) その他の家族・親族の理解や対応

①38.0%, ②27.8%, ③35.0%, ④27.4%

4) 友人の理解や対応

①37.9%, ②30.7%, ③14.3%, ④22.8%

5) 職場の理解や対応

①42.2%, ②29.6%, ③36.4%, ④39.2%

6) 社会の理解や対応

①39.9%, ②33.8%, ③39.4%, ④31.9%

7) 妊娠中の受動喫煙への配慮

①39.2%, ②31.7%, ③33.3%, ④35.7%

8) 産婦人科医の指導・対応

①37.3%, ②32.2%, ③44.4%, ④33.1%

9) 産婦人科医、助産師以外の産科施設スタッフの技術

①37.4%, ②33.7%, ③42.9%, ④29.7%

以上のように、「次の出産を希望している」と回答した中において、1)~7)項目においては、「満足」と回答した割合が最も高かった。また、クロス集計による χ^2 乗検定により、

1)~7)に関しては、1%以下の危険率で、8,9)については5%以下の危険率で有意差が認められた。

4. 妊娠・出産について不満と答えた項目数と関連について

不満数との関連は認められなかった。

5. 子育て満足度との関連について

子育て満足度における次の出産を希望しているものの割合は、「満足している」(44.5%)「まあ満足している」(31.7%)「あまり満足していない」(13.3%)「満足していない」(22.2%) 次の妊娠を考えている者ほど、子育て満足度が有意に高いことが明らかだった。

6. 栄養法との関連について

「母乳」(37.4%)「混合」(35.8%)「人工乳」(30.2%)であり、母乳栄養の方が、子育ての満足度が高く、5%以下の危険率ではあるが有意差が認められた。

C. 考 察

1) 妊娠・出産及び子育ての満足度は、いずれも95%を占めており、思いのほか高いことがうかがえた。この両者はどちらから見ても互いに関係しており、それぞれの要因も共通していることがわかった。次の妊娠希望については、これらほど高い状況ではなく、必ずしもこれら満足度が高ければ、次の妊娠につながるといったものではなく、他の因子の影響が少なからずあることが推測された。

2) 妊娠・出産において、医療設備が整って

おり、安全性の点でも高い病院が、満足度の点でやや劣るのは、患者（住民）が求めているものが、安全性よりもむしろ親近感や相談しやすいなど、妊娠出産を医療というよりは、生活の中で安心感や信頼感を求めていることが推測される。

妊婦にとって、入院時ぐらひは、育児から少しでも開放されたほうが、快適性が増すと考えられるが、実際には、出産直後から同室であることが結果的に満足度を上げていることが理解できる。分娩機関としては、むしろ同室の方が管理し難く手間もかかることから、本来のニーズにどう応えていくか、この結果を受け止め検討していく必要がある。

3) 調査票の妊娠・出産期における一連の項目は、妊婦自身、分娩機関やスタッフ、行政、夫や家族、友人や職場、そして受動喫煙への配慮その他社会環境など、妊婦自身の課題だけでなく、当事者を囲む周囲の環境まで多方面にわたっている。これらの要因が、妊娠・出産及び子育ての満足度の両者に共通して見られ、これらの状況を改善することが、これら満足度を向上させる上で極めて効果であることが明らかとなった。今後これらの項目について、それぞれの領域で現状を把握し、妊婦自身の問題だけではなく、情報の積極的提供や地域資源のネットワーク化など環境整備の観点から見直し改善される対応が期待される。

3) 次の出産を希望する要因については、妊娠・出産や子育ての満足度とはやや異なり、

妊婦自身の問題や分娩機関やスタッフの問題との関連は一部に留まり、行政や、夫など家族、職場やその他社会環境との関連に限られていることがわかった。

D. 結 語

妊娠・出産の満足度が、子育ての満足度向上につながり、ひいては次の妊娠主体的に考えるといった流れが推測される。出生率の低下への対策は、これら満足度の向上だけでは解決し難い部分もあるが、少子化時代において、妊娠・出産時の満足度を上げるために、保健・医療・福祉等に関する社会資源全体の取り組みは、直接的な子育て支援と勝るとも劣らない極めて重要な取り組みと考えられた。特に地域環境整備に向けた行政や専門家等のマネジメント機能が重要であると考えられた。

表1 妊娠・出産期，子育てにおける満足度に影響を与える要因及び次の出産意欲への影響要因の互いの関係について

項目	妊娠・出産満足度と各要因との関連		子育て満足度と各要因との関連		次の妊娠を促す各要因との関連	
	$\alpha < 0.01$	$\alpha < 0.05$	$\alpha < 0.01$	$\alpha < 0.05$	$\alpha < 0.01$	$\alpha < 0.05$
出産場所	○		—	—	—	—
母子同室	○		—	○	○	
妊娠出産についての満足度			○		○	
いいお産をするための自分自身の頑張り（妊娠中）	○		○		—	—
いいお産をするための自分自身の頑張り（お産）	○		○		—	—
産科施設に関する情報	○		○		—	—
専門職（産婦人科医，小児科医，助産師，その他）による継続的な関わり	○		○		—	—
産婦人科医の技術	○		○		—	—
産婦人科医の指導・対応	○		○		—	○
助産師の技術	○		○		—	—
助産師の指導・対応	○		○		—	—
産婦人科医，助産師以外の産科施設スタッフの技術	○		○		—	○
産婦人科医，助産師以外の産科施設スタッフの指導・対応	○		○		—	—
産科施設の設備や食事等の快適さ	○		○		—	—
保健センター・保健所等のサービス	○		○		○	
夫の理解や対応	○		○		○	
その他の家族・親族の理解や対応	○		○		○	
友人の理解や対応	○		○		○	
職場の理解や対応	○		○		○	
社会の理解や対応	○		○		○	
妊娠中の受動喫煙への配慮	○		○		○	
その他	—	○	○		—	—
不満数	○(負)		○(負)		—	—
次の妊娠	○		○			
子育ての満足度	○				○	
母乳栄養				○	—	○

※(負):負の相関

分担研究報告書

「健やか親子 21」推進の効果に関する研究

～妊娠・出産期、子育てにおける満足度に影響を与える要因及び

次の出産意欲への影響要因の多重ロジスティック回帰分析～

尾崎米厚（鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野）

藤内修二（大分県福祉保健部健康対策課）

要 旨

【目的】わが国の母子保健活動の課題であり、目標でもある妊娠・出産の満足度、子育ての満足度に関連する要因を明らかにすること、すでに子どもをもうけた親が次に子どもを産みたいと思ふ要因を明らかにすることを研究目的とした。

【方法】無作為に選んだ182市町村の乳幼児健診（3，4か月，1歳6か月，3歳）を受診した親に自記式質問票に回答してもらった。個人単位の調査結果にその自治体の母子保健担当者に記載してもらった市町村の母子保健活動に関する情報をリンクさせて、分析した。解析は多重ロジスティック回帰分析を用い、従属変数は、妊娠・出産の満足度，子育ての満足度，または，次の子どもを産みたいと思うかとし，共変量は，個人調査票の項目あるいは，個人調査票に加え自治体調査票の項目とした。

【結果および考察】調査に回答した母親は妊娠・出産や子育てに満足している割合が高かった。妊娠・出産の満足度に関係していた項目は，月齢が小さいほうが多く，妊娠中の専門家の技術や周りの人の対応への満足，母児同室や母乳栄養，育児の相談相手がある，ゆったりした気持ちでの育児や育児への自信などであった。子育ての満足度に関係していた項目のうち，どの月齢で類似しており，父親の育児参加，子供と遊ぶこと，ゆったりした気持ちでの育児，子育ての自信，虐待をしていないと思うこと，育児の相談をする人を持っているなどであった。次の子どもを産みたいと思うことに関係していた項目は，妊娠・出産に満足すること，子育てに満足することに加え，父が子どもを遊ぶこと，妊娠中に喫煙していないこと，母乳栄養であること，ゆったりした気持ちで子育てできること，育児の自信が持てないことが無いことなどであった。自治体の施策との関連は一定の傾向が認められなかった。

【結語】妊娠・出産の満足度，育児の満足度，次の子どもが欲しいことは一連の関連を持っている可能性があり，父の育児参加，育児の自信を持つこと，ゆったりした気持ちでの子育てなど比較的共通の促進要因がある可能性が示唆された。

A. 目的

わが国は、世界有数の母子保健の健康状態の優れた国である。一方で、少子化の進行はとどまることを知らず、大きな社会問題となっている。前者の理由から、母子保健活動において疾病の有無、死亡率の減少といった健康指標から主観的健康、生活の質を高める活動の重要性が認識されるようになってきている。具体的には、妊娠・出産の満足度、子育ての満足度などを重視する傾向がある。これらは、単なる主観的、精神的健康を追求するためのものではなく、現代の母子保健分野におけるさまざまな問題に密接な関連があると考えられている。すなわち、児童虐待の背景には育児不安があり、それが子育ての満足度を高めることにより改善されると考えられている。そして、これらが深刻さを増す少子化からの脱却にも好影響を及ぼすのではないかと期待されている。したがって、妊娠・出産、子育ての満足度をあげ、これが少子化を食い止められれば願っても無いことなのである。そこで、本研究では、妊娠・出産および、子育ての満足度、次の子どもを産みたいと思う気持ちの関連要因を明らかにし、それらの改善方法を考察することとした。

B. 方法

全国の市区町村から無作為に 182 市町村を抽出し、147 市町村の承諾を得 (80.8%)、3、4 か月健診 (6,109 人)、1 歳 6 か月健診 (7,490 人)、3 歳健診 (7,460 人) を受診した母親に子育てに自記式質問票に回答してもらった。調査時期は、平成 17 年 6～8 月であった。

解析方法は多重ロジスティック回帰分析を行った。従属変数は、妊娠・出産の満足度、子育ての満足度、次に子どもを産みたいかのそれ

ぞれにした。これらはいずれも二項ロジスティック回帰分析として解析したので、妊娠・出産の満足度では、「とても満足」「満足」を満足あり群、その他をなし群とし、子育ての満足度では、「満足」「まあ満足」を満足あり群とした。次も子どもを産みたいかでは、「はい」を産みたい群とした。共変量は、それぞれの月齢の質問票の項目とした (表 1)。変数選択法は、尤度比による変数増加法を行った。

解析には SPSS13.0J を用いた。

C. 結果および考察

1) 妊娠・出産の満足度に関連する要因 (表 2-5)

3、4 か月時に聞いた妊娠・出産の満足度は、妊娠・出産時の専門家の技術、周囲の人の理解や対応への満足と関連していた。また、24 時間母児同室、母乳栄養との関連も認められ、母児のスキンシップの大切さを示唆していた。母親の心理的な側面として、ゆったりした気分で子と過ごす時間がある、育児に自信がもてないときがないことが関連していた。育児の相談相手がいることも関連要因であった (表 2)。

1 歳 6 か月では、妊娠中飲酒しないこと、育児の相談相手、ゆったりした気分で子と過ごすときがある、育児に自信を持ってないことがない、子を虐待しているのではと思わない、かかりつけ医がいる、出産場所が診療所であるが関連していた。3、4 か月でも 1 歳 6 か月でもカウプ指数が大きいことが促進要因となっていた (表 3)。

3 歳では、関連する項目数が少なく、ゆったりとした気分で子と過ごすときがある、育児に自信がもてないことはない、相談相手がある (配偶者、母の親) などであった (表 4)。健

診の感想もモデルに入れるといくつか関連要因が選択されたが、モデルで実際のデータをどの程度説明できるかを見ると（モデルカイ2乗や正分類割合）、追加した効果はほとんど認められなかった（表5）。

妊娠・出産の満足度に関連する要因は月齢が若いほど要因数が多く、モデルで説明できる割合も高いが、3、4か月の解析結果においても決して高い値ではなかった。妊娠・出産の満足度は、妊娠・出産時の専門家と周囲の対応、相談相手の有無、母児のスキンシップ、母の心理的要因（育児の自信、ゆったりした気持ちなど）が重要であるといえる。

2) 子育ての満足度に関連する要因（表6-9）

子育ての満足度に関連する要因は、3、4か月では、父の育児参加、父が子とよく遊ぶ、妊娠・出産の満足、相談する人がいる、ゆったりした気分で子と過ごす、育児の自信が持てないことはない、虐待をしていないと認めていることであった（表6）。1歳6か月では、3、4か月と同様の項目として、父の育児参加、子と遊ぶこと、ゆったりとした気持ちで子と過ごす、育児に自信がもてないことがない、子を虐待していると思うことがないがあったが、特徴的な所見として、かかりつけ医がいることが促進要因となっており、妊娠・出産への満足度に関連しなかったことである（表7）。3歳でも同様に、父がことよく遊ぶ、相談相手がいる、ゆったりした気分で子と過ごす、育児に自信が持てないことがない、虐待しているのではないかと思うことがないであった（表8）。1歳6か月、3歳いずれの分析においても、事故対策得点が高いことが促進要因となっており、子育てに満足している親は乳幼児の自己防止対策もよく

実施していることが明らかになった。どの月齢でもほぼ、同様の項目が関連しており、妊娠・出産の満足度に比べ、これらの項目で結果のより多く部分を説明できていた。健診の感想をモデルに入れても効果はあまり大きくはなかった（表9）。

3) 次の子を産みたいと思うか（表10-12）

次の子を産みたいかという質問は3、4か月にしか行わなかった。次の子を産みたい人は3割以上いたが、その割合は健診受診した子が第何子かに大きく影響された。その他の関連要因は、促進要因として、父が子とよく遊ぶ、妊娠・出産の満足度が高い、子育ての満足度が高い、母乳影響、ゆったりとした気分で子と過ごす、育児に自信がもてないことがないであった（表10）。阻害要因として、妊娠中の喫煙があった。これらの要因で次の子を産みたいかどうかという結果を比較的良好に説明できていた。第1子の親に限って、同様の解析をお子だが、結果はほぼ同じであった（表11）。第2子以上の子を持つ親の場合は、関連要因の項目数が少ないながらも項目名は上記の解析結果に含まれるような物が多かったが、そのモデルで実際の結果を説明できた割合は全体の分析と比較して極めて低かった（表12）。2子以降の（3人以上）子どもを持つことを促進する要因は今回調査した項目とは異なる次元のものかもしれない。

4) 自治体の対策の効果（表13-15）

自治体の母子保健、健やか親子21関連の施策との子育ての満足度との関連を検討した。子育ての満足度は、個人調査票の関連要因を用いると比較的良好に説明できたが、本解析はその要

因に加え、自治体の子育て支援、母子保健の課題解決の取り組みを追加したモデルで検討した。どの月齢でもいくつかの要因が新たに認められたが、施策の関連要因に一貫性がなく、特定に意味を見出すことは困難であった。有意な項目は、積極的な母子保健対策であっても、促進要因になっていたり、阻害要因になっていたりして一貫性がなく、数多くの変数をモデルに投入したために偶然関連した項目である可能性も高い。この問題については、より適切な統計学的手法の適応も含めて、今後の詳細な検討が必要である。

4) 本研究の限界

本研究はあくまで断面調査における関連を検討したもので、因果関係を結論付けているものではない。したがって、今回見出した関連要因を改善するような介入をすれば、アウトカムが改善するかどうかはわからない。今後は、今回の知見を発展させるべく、追跡調査や介入研究が発展することが望ましい。

D. 結語

市町村の乳幼児健診を受診した、母親に自記式調査票を回答してもらい、妊娠・出産の満足度、子育ての満足度、次の子どもを産みたいと思うかに関連する要因を検討した。

妊娠・出産の満足度には、専門家の対応、周囲の者の理解・対応、母児のスキンシップ、子育て不安や心のゆとりの重要性が示唆された。

子育ての満足度には、父親の育児参加、相談相手、育児の不安や心のゆとり、妊娠出産の満足度が関係していることが示された。

次の子どもを産みたいかどうかには、妊娠・出産の満足度、子育ての満足度、育児の不安と

心のゆとり、父の育児参加、相談相手、母乳栄養が関連していた。

今回明らかになった項目はいずれもリーズナブルなものばかりで、しかも、妊娠・出産の満足度、子育ての満足度、次の子どもを産みたいかどうか連動していることが示唆された。本研究は断面調査ではあるが、この結果は、現在推進されている子育て支援策を支持する結果であったといえる。本研究の成果を生かした、さらなる推進が望まれる。

表1 多変量解析に用いた従属変数, 共変量

月齢	従属変数	共変量
3, 4か月	妊娠出産の満足度(とても満足+満足)	子の出生順, 子の性, 出産場所, 出産時の母子同室, カウプ指数, 妊娠出産についての項目ごと満足度, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, 生後1ヶ月の栄養法, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待してないかとの心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医, 現在の父母の喫煙
3, 4か月	子育ての満足度(満足+まあ満足)	子の出生順, 子の性, 出産場所, 出産時の母子同室, カウプ指数, 妊娠出産についての項目ごと満足度, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, 生後1ヶ月の栄養法, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待してないかとの心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医, 現在の父母の喫煙, 妊娠出産の満足度
3, 4か月	次の子を産みたいか	子の出生順, 子の性, 出産場所, 出産時の母子同室, カウプ指数, 妊娠出産についての項目ごと満足度, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, 生後1ヶ月の栄養法, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待してないかとの心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医, 現在の父母の喫煙, 妊娠出産の満足度, 住所地の市町村の施策, 子育ての満足度
3, 4か月	子育ての満足度(満足+まあ満足)	子の出生順, 子の性, 出産場所, 出産時の母子同室, カウプ指数, 妊娠出産についての項目ごと満足度, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, 生後1ヶ月の栄養法, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待してないかとの心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医, 現在の父母の喫煙, 妊娠出産の満足度, 住所地の市町村の施策
1歳6か月	妊娠出産の満足度(とても満足+満足)	子の性別, 出産場所, 出生時カウプ指数, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待の心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医の有無, 休日夜間診療機関を知っているか, 心肺蘇生法を知っているか, 現在の父母の喫煙, 子供の事故防止実施得点
1歳6か月	子育ての満足度(満足+まあ満足)	子の性別, 出産場所, 出生時カウプ指数, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待の心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医の有無, 休日夜間診療機関を知っているか, 心肺蘇生法を知っているか, 現在の父母の喫煙, 子供の事故防止実施得点, 妊娠出産の満足
1歳6か月	子育ての満足度(満足+まあ満足)	子の性別, 出産場所, 出生時カウプ指数, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待の心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医の有無, 休日夜間診療機関を知っているか, 心肺蘇生法を知っているか, 現在の父母の喫煙, 子供の事故防止実施得点, 妊娠出産の満足, 住所地市町村の施策
3歳	妊娠出産の満足度(とても満足+満足)	子の性別, 出産場所, 出生時カウプ指数, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待の心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医の有無, 休日夜間診療機関を知っているか, 心肺蘇生法を知っているか, 現在の父母の喫煙, 子供の事故防止実施得点
3歳	子育ての満足度(満足+まあ満足)	子の性別, 出産場所, 出生時カウプ指数, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待の心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医の有無, 休日夜間診療機関を知っているか, 心肺蘇生法を知っているか, 現在の父母の喫煙, 子供の事故防止実施得点, 妊娠出産の満足
3歳	子育ての満足度(満足+まあ満足)	子の性別, 出産場所, 出生時カウプ指数, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待の心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医の有無, 休日夜間診療機関を知っているか, 心肺蘇生法を知っているか, 現在の父母の喫煙, 子供の事故防止実施得点, 妊娠出産の満足, 住所地市町村の施策

表2 妊娠出産の満足(とても満足+満足)に関連する3,4ヶ月時に回答された項目(n=5007、満足=4679)

	β	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
24時間母児同室	0.380	0.120	9.980	1	0.002	1.46	1.16	1.85
カウプ指数が1上がる	0.101	0.046	4.897	1	0.027	1.11	1.01	1.21
育児の相談相手がいる	1.194	0.572	4.349	1	0.037	3.30	1.07	10.13
妊娠中の自分のがんばりに満足	0.529	0.141	14.051	1	0.000	1.70	1.29	2.24
お産の際の自分のがんばりに満足	0.521	0.147	12.598	1	0.000	1.68	1.26	2.24
産科施設の情報に満足	0.509	0.146	12.154	1	0.000	1.66	1.25	2.22
産科医の技術に満足	0.544	0.151	13.033	1	0.000	1.72	1.28	2.32
助産師の技術に満足	-0.550	0.189	8.464	1	0.004	0.58	0.40	0.84
助産師の対応に満足	0.716	0.180	15.760	1	0.000	2.05	1.44	2.91
産科施設の設備や快適さに満足	0.338	0.132	6.577	1	0.010	1.40	1.08	1.82
友人の理解や対応に満足	-0.638	0.161	15.782	1	0.000	0.53	0.39	0.72
受動喫煙の対応に満足	-0.289	0.131	4.851	1	0.028	0.75	0.58	0.97
生後1ヶ月ごろが母乳栄養	0.239	0.122	3.841	1	0.050	1.27	1.00	1.61
ゆったりとした気分で過せる時間がある	0.479	0.131	13.396	1	0.000	1.61	1.25	2.09
育児の自信が持てないことがない	0.385	0.139	7.669	1	0.006	1.47	1.12	1.93

モデルカイ2乗 2180.5、Cox & Snell R² 乗 0.05、Nagelkerke R² 乗 0.12
 モデル予測の正分類割合 かなり満足+満足 99.9% 全体 93.4%

表3 妊娠出産の満足(とても満足+満足)に関連する1歳6ヶ月時に回答された項目(n=5468、満足=5001)

	β	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
妊娠中の飲酒あり	-0.255	0.124	4.251	1	0.039	0.77	0.61	0.99
ゆったりとした気分で子と過せる	0.379	0.103	13.454	1	0.000	1.46	1.19	1.79
育児に自信が持てないことがある	-0.468	0.108	18.766	1	0.000	0.63	0.51	0.77
子を虐待しているのではと思うことがある	-0.414	0.135	9.407	1	0.002	0.66	0.51	0.86
育児の相談相手が配偶者	0.255	0.107	5.745	1	0.017	1.29	1.05	1.59
育児の相談相手がかかりつけ医	-0.780	0.220	12.559	1	0.000	0.46	0.30	0.71
育児に相談相手が保育士	0.322	0.164	3.845	1	0.050	1.38	1.00	1.90
かかりつけ医がいる	0.271	0.135	4.035	1	0.045	1.31	1.01	1.71
カウプ指数が1上がる	0.253	0.040	41.002	1	0.000	1.29	1.19	1.39
出産場所が診療所(対病院)	0.350	0.114	9.501	1	0.002	1.42	1.14	1.77

健診の感想を入れないモデル
 モデルカイ2乗 3050.9、Cox & Snell R² 乗 0.03、Nagelkerke R² 乗 0.06
 モデル予測の正分類割合 かなり満足+満足 100% 全体 91.5%

表4 妊娠出産の満足(とても満足+満足)に関連する3歳時に回答された項目(n=5688、満足=5142)

	β	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
出生順位が高い	0.333	0.067	24.975	1	0.000	1.40	1.22	1.59
ゆったりとした気分で子と過すことがある	0.371	0.094	15.588	1	0.000	1.45	1.21	1.74
育児に対する自信が持てないことがある	-0.387	0.096	16.272	1	0.000	0.68	0.56	0.82
配偶者が育児の相談相手	0.259	0.098	6.973	1	0.008	1.30	1.07	1.57
保育士が育児の相談相手	-0.278	0.111	6.265	1	0.012	0.76	0.61	0.94
事故対策得点が1点あがる	0.016	0.004	19.295	1	0.000	1.02	1.01	1.02

健診の感想を除いたモデル
 モデルカイ2乗 3480.9、Cox & Snell R² 乗 0.02、Nagelkerke R² 乗 0.04
 モデル予測の正分類割合 かなり満足+満足 100% 全体 90.4%

表5 妊娠出産の満足(とても満足+満足)に関連する3歳時に回答された項目(n=5273、満足=4774)

	β	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
父が子とよく遊んでいる	0.237	0.098	5.890	1	0.015	1.27	1.05	1.53
出生順位が大きい	0.339	0.071	22.810	1	0.000	1.40	1.22	1.61
ゆったりとした気分で子と過すことがある	0.290	0.099	8.561	1	0.003	1.34	1.10	1.62
育児に対する自信が持てないことがある	-0.414	0.101	16.933	1	0.000	0.66	0.54	0.81
保育士が育児の相談相手	-0.252	0.118	4.569	1	0.033	0.78	0.62	0.98
健診感想:信頼できて安心	0.335	0.119	7.864	1	0.005	1.40	1.11	1.77
健診感想:勉強になった	0.203	0.114	3.160	1	0.075	1.23	0.98	1.53
検診感想:もっと時間が欲しい	-0.344	0.139	6.146	1	0.013	0.71	0.54	0.93
健診感想:決まりだから受けた	-0.268	0.118	5.166	1	0.023	0.77	0.61	0.96
検診感想:知っていることばかりだった	-0.441	0.215	4.231	1	0.040	0.64	0.42	0.98
事故対策得点が1点上がる	0.013	0.004	11.429	1	0.001	1.01	1.01	1.02

健診感想を入れたモデル
 モデルカイ2乗 3160.3、Cox & Snell R² 乗 0.03、Nagelkerke R² 乗 0.06
 モデル予測の正分類割合 かなり満足+満足 100% 全体 90.5%

表6 子育ての満足(満足+まあ満足)に関連する3.4ヶ月時に回答された項目(n=5007、満足=4663)

	β	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
父が良く育児をやっている	0.427	0.182	5.487	1	0.019	1.53	1.07	2.19
父が子とよく遊ぶ	0.426	0.173	6.042	1	0.014	1.53	1.09	2.15
保健センターのサービスに満足	0.289	0.144	4.028	1	0.045	1.34	1.01	1.77
家族の理解、対応に満足	0.534	0.143	14.014	1	0.000	1.71	1.29	2.26
社会の理解や対応に満足	0.315	0.158	3.954	1	0.047	1.37	1.00	1.87
ゆったりとした気分で子と過ごす時間がある	1.646	0.131	156.984	1	0.000	5.18	4.01	6.71
育児の自信を持ってないことがない	0.995	0.188	28.028	1	0.000	2.70	1.87	3.91
虐待をしていない	0.641	0.138	21.669	1	0.000	1.90	1.45	2.49
育児の相談を配偶者にする	0.282	0.135	4.371	1	0.037	1.33	1.02	1.73
祖父母に育児の相談をする	0.340	0.131	6.691	1	0.010	1.40	1.09	1.82
妊娠出産に満足している	1.231	0.173	50.605	1	0.000	3.42	2.44	4.80

モデルカイ2乗 1890.8、Cox & Snell R² 乗 0.12、Nagelkerke R² 乗 0.29
 モデル予測の正分類割合 満足+まあ満足 99.3% 全体 93.3%

表7 子育ての満足(満足+まあ満足)に関連する1歳6ヶ月時に回答された項目(n=5469、満足=4906)

	β	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
ゆったりとした気分で子と過せる	1.573	0.101	241.897	1	0.000	4.82	3.96	5.88
育児に自信が持てないことがある	-1.223	0.101	146.941	1	0.000	0.29	0.24	0.36
子を虐待しているのではと思うことがある	-0.409	0.123	10.976	1	0.001	0.66	0.52	0.85
かかりつけ医がいる	0.476	0.129	13.608	1	0.000	1.61	1.25	2.07
事故対策得点が1点あがる(22項目)	0.009	0.004	6.412	1	0.011	1.01	1.00	1.02
父が育児を良くやっている	0.315	0.136	5.378	1	0.020	1.37	1.05	1.79
父が子とよく遊ぶ	0.355	0.131	7.287	1	0.007	1.43	1.10	1.84
育児の相談相手がいる	1.462	0.437	11.185	1	0.001	4.31	1.83	10.16

モデルカイ2乗 2943.3、Cox & Snell R² 乗 0.12、Nagelkerke R² 乗 0.24
 モデル予測の正分類割合 満足+まあ満足 98.9% 全体 89.7%

表8 子育ての満足(満足+まあ満足)に関連する3歳時に回答された項目(n=5688、満足=4910)

	β	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
父が子とよく遊んでいる	0.476	0.094	25.590	1	0.000	1.61	1.34	1.93
出生順位が高い	0.120	0.059	4.157	1	0.041	1.13	1.00	1.27
ゆったりとした気分で子と過ごす時間がある	1.672	0.098	288.751	1	0.000	5.32	4.39	6.46
育児に自信が持てないことがある	-1.164	0.092	160.076	1	0.000	0.31	0.26	0.37
虐待をしているのではと思う	-0.413	0.101	16.775	1	0.000	0.66	0.54	0.81
配偶者が育児の相談相手	0.494	0.094	27.760	1	0.000	1.64	1.36	1.97
祖父母が育児の相談相手	0.192	0.087	4.834	1	0.028	1.21	1.02	1.44
保健師が育児の相談相手	-0.688	0.331	4.320	1	0.038	0.50	0.26	0.96
事故対策得点が1点上がる	0.011	0.003	10.319	1	0.001	1.01	1.00	1.02
妊娠出産満足度が高い(とても満足+満足)	0.832	0.119	49.214	1	0.000	2.30	1.82	2.90

モデルカイ2乗 3548.5、Cox & Snell R² 乗 0.16、Nagelkerke R² 乗 0.29
 モデル予測の正分類割合 満足+まあ満足 98.0% 全体 87.2%

表9 子育ての満足(満足+まあ満足)に関連する3歳時に回答された項目(n=5273、満足=4563)

	β	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
父が子とよく遊んでいる	0.505	0.098	26.469	1	0.000	1.66	1.37	2.01
ゆったりとした気分で子と過ごす時間がある	1.615	0.103	247.660	1	0.000	5.03	4.11	6.15
育児に自信が持てないことがある	-1.182	0.096	151.234	1	0.000	0.31	0.25	0.37
虐待をしているのでは思うことある	-0.397	0.106	14.158	1	0.000	0.67	0.55	0.83
配偶者が育児の相談相手	0.455	0.099	21.257	1	0.000	1.58	1.30	1.91
祖父母が育児の相談相手	0.187	0.091	4.225	1	0.040	1.21	1.01	1.44
保健師が育児の相談相手	-0.736	0.344	4.591	1	0.032	0.48	0.24	0.94
事故対策得点が1点上がる	0.009	0.004	6.400	1	0.011	1.01	1.00	1.02
妊娠出産満足度高い(とても満足+満足)	0.849	0.124	46.577	1	0.000	2.34	1.83	2.98
健診感想:信頼できて安心	0.313	0.106	8.672	1	0.003	1.37	1.11	1.68
健診感想:勉強になった	0.278	0.103	7.311	1	0.007	1.32	1.08	1.62
健診感想:心理士の相談が良かった	-0.603	0.286	4.453	1	0.035	0.55	0.31	0.96

健診の感想を入れたモデル
 モデルカイ2乗 3237.6、Cox & Snell R² 乗 0.16、Nagelkerke R² 乗 0.30
 モデル予測の正分類割合 満足+まあ満足 98.0% 全体 87.5%

表10 次の子を産みたいと思うか(はい)に関連する3.4ヶ月時に回答された項目(n=5007、はい=1793)

	β	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
出生順第2子	-2.122	0.085	627.949	1	0.000	0.12	0.10	0.14
出生順第3子	-3.136	0.187	280.695	1	0.000	0.04	0.03	0.06
出生順第4子	-3.053	0.373	67.074	1	0.000	0.05	0.02	0.10
子の性別が女	-0.210	0.069	9.259	1	0.002	0.81	0.71	0.93
父が子とよく遊んでいる	0.279	0.078	12.794	1	0.000	1.32	1.13	1.54
妊娠出産時産科医の技術に満足	0.193	0.084	5.288	1	0.021	1.21	1.03	1.43
妊娠出産時夫の理解と対応に満足	0.273	0.097	7.977	1	0.005	1.31	1.09	1.59
妊娠出産時職場対応に満足	0.188	0.071	6.949	1	0.008	1.21	1.05	1.39
妊娠中に喫煙	-0.412	0.149	7.663	1	0.006	0.66	0.49	0.89
生後1ヶ月時母乳栄養	0.361	0.070	26.275	1	0.000	1.43	1.25	1.65
ゆったり気分で子と過ごす時間がある	0.345	0.102	11.424	1	0.001	1.41	1.16	1.73
育児の自信が持てないことがない	0.193	0.074	6.844	1	0.009	1.21	1.05	1.40
保育士が育児の相談相手	0.309	0.154	4.055	1	0.044	1.36	1.01	1.84
妊娠出産満足度高い(とても満足+満足)	0.415	0.147	7.940	1	0.005	1.51	1.13	2.02
子育てに満足(満足、まあ満足)	0.672	0.174	14.929	1	0.000	1.96	1.39	2.75

モデルカイ2乗 5057.2、Cox & Snell R² 乗 0.26、Nagelkerke R² 乗 0.35
 モデル予測の正分類割合 産みたい 72.4% 全体 75.8%

表11 次の子を産みたいと思うか(はい)に関連する3.4ヶ月時に回答された項目(第1子の親のみ n=2527、はい=1481)

	β	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
子の性別が女	-0.302	0.085	12.677	1	0.000	0.74	0.63	0.87
父が子とよく遊んでいる	0.375	0.096	15.127	1	0.000	1.46	1.20	1.76
妊娠出産時夫の理解、対応に満足	0.355	0.114	9.743	1	0.002	1.43	1.14	1.78
妊娠出産時職場の対応に満足	0.250	0.086	8.396	1	0.004	1.28	1.08	1.52
妊娠中に喫煙	-0.574	0.184	9.699	1	0.002	0.56	0.39	0.81
生後1ヶ月時母乳栄養(対人工)	0.689	0.173	15.750	1	0.000	1.99	1.42	2.80
生後1ヶ月時混合栄養(対人工)	0.371	0.171	4.741	1	0.029	1.45	1.04	2.02
ゆったりした気分で子と過せる	0.341	0.140	5.879	1	0.015	1.41	1.07	1.85
育児の自信を持てないことがない	0.210	0.092	5.150	1	0.023	1.23	1.03	1.48
虐待をしているとは思わない	0.386	0.183	4.455	1	0.035	1.47	1.03	2.10
祖父母が育児の相談相手	0.235	0.093	6.378	1	0.012	1.26	1.05	1.52
保育士が育児の相談相手	1.008	0.421	5.722	1	0.017	2.74	1.20	6.26
妊娠出産満足度高い(とても満足+満足)	0.641	0.168	14.492	1	0.000	1.90	1.36	2.64
子育てに満足(満足、まあ満足)	0.733	0.212	11.911	1	0.001	2.08	1.37	3.16

モデルカイ2乗 3200.8、Cox & Snell R² 乗 0.09、Nagelkerke R² 乗 0.12
 モデル予測の正分類割合 産みたい 83.1% 全体 64.3%

表12 次の子を産みたいと思うか(はい)に関連する3.4ヶ月時に回答された項目(第2子以上の親のみ n=2473、はい=311)

	β	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
父が育児をよくやっている	0.249	0.124	4.052	1	0.044	1.28	1.01	1.63
妊娠出産時友人の理解、対応に満足	0.499	0.165	9.124	1	0.003	1.65	1.19	2.28
生後1ヶ月時母乳栄養	0.378	0.125	9.212	1	0.002	1.46	1.14	1.86
ゆったりした気分で子と過すことがある	0.443	0.146	9.186	1	0.002	1.56	1.17	2.07
虐待をしているという自覚はない	-0.338	0.148	5.239	1	0.022	0.71	0.53	0.95
育児の相談相手が近所の人	-0.530	0.202	6.917	1	0.009	0.59	0.40	0.87
育児の相談相手がかかりつけ医	0.455	0.209	4.730	1	0.030	1.58	1.05	2.38

モデルカイ2乗 1821.2、Cox & Snell R² 乗 0.02、Nagelkerke R² 乗 0.04
 モデル予測の正分類割合 産みたい 0% 全体 87.4%

表13 子育ての満足(満足+まあ満足)に関連する3.4ヶ月時に回答された項目(n=5007、満足=4663)

	β	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
父が良く育児をやっている	0.398	0.184	4.659	1	0.031	1.49	1.04	2.14
父が子とよく遊ぶ	0.410	0.175	5.461	1	0.019	1.51	1.07	2.12
保健センターのサービスに満足	0.261	0.146	3.203	1	0.073	1.30	0.98	1.73
家族の理解、対応に満足	0.464	0.146	10.143	1	0.001	1.59	1.20	2.12
社会の理解や対応に満足	0.318	0.160	3.926	1	0.048	1.37	1.00	1.88
ゆったりとした気分で子と過ごす時間がある	1.644	0.132	154.598	1	0.000	5.18	3.99	6.71
育児の自信を持ってないことがない	1.020	0.188	29.321	1	0.000	2.77	1.92	4.01
虐待をしていない	0.604	0.140	18.555	1	0.000	1.83	1.39	2.41
育児の相談を配偶者にする	0.383	0.139	7.600	1	0.006	1.47	1.12	1.93
祖父母に育児の相談をする	0.487	0.136	12.764	1	0.000	1.63	1.25	2.13
妊娠出産に満足している	1.241	0.175	50.273	1	0.000	3.46	2.45	4.87
施策:ハイリスク児のフォロー	-0.361	0.148	5.930	1	0.015	0.70	0.52	0.93
施策:生活習慣の改善(学童)	0.335	0.169	3.913	1	0.048	1.40	1.00	1.95
施策:中絶の実態把握	-0.208	0.083	6.225	1	0.013	0.81	0.69	0.96
施策:関係機関と妊娠中の喫煙対策	0.300	0.182	2.721	1	0.099	1.35	0.95	1.93
施策:県と虐待対策	-0.470	0.137	11.687	1	0.001	0.63	0.48	0.82
施策:関係機関と親子の心の健康対策	-0.327	0.130	6.336	1	0.012	0.72	0.56	0.93

モデルカイ2乗 1857.7、Cox & Snell R² 乗 0.12、Nagelkerke R² 乗 0.31
 モデル予測の正分類割合 満足+まあ満足 99.2% 全体 93.5%

表14 子育ての満足(満足+まあ満足)に関連する1歳6ヶ月時に回答された項目(n=5469、満足=4906)

	β	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
ゆったりとした気分で子と過せる	1.584	0.102	243.369	1	0.000	4.88	4.00	5.95
育児に自信が持てないことがある	-1.243	0.102	149.725	1	0.000	0.29	0.24	0.35
子を虐待しているのではと思うことがある	-0.411	0.124	10.960	1	0.001	0.66	0.52	0.85
かかりつけ医がいる	0.505	0.130	15.099	1	0.000	1.66	1.28	2.14
事故対策得点が1点あがる(22項目)	0.009	0.004	6.151	1	0.013	1.01	1.00	1.02
父が育児を良くやっている	0.317	0.136	5.416	1	0.020	1.37	1.05	1.79
父が子とよく遊ぶ	0.364	0.132	7.653	1	0.006	1.44	1.11	1.86
育児の相談相手がいる	1.523	0.438	12.075	1	0.001	4.58	1.94	10.82
施策:学校と連携した食育	-0.286	0.099	8.348	1	0.004	0.75	0.62	0.91
施策:関係機関と飲酒対策	-0.271	0.108	6.276	1	0.012	0.76	0.62	0.94
施策:住民組織と心の健康対策	0.895	0.461	3.769	1	0.052	2.45	0.99	6.05
施策:県と虐待対策	-0.274	0.105	6.809	1	0.009	0.76	0.62	0.93

モデルカイ2乗 2916.7、Cox & Snell R² 乗 0.12、Nagelkerke R² 乗 0.25
 モデル予測の正分類割合 満足+まあ満足 98.9% 全体 89.9%

表15 子育ての満足(満足+まあ満足)に関連する3歳時に回答された項目(n=5688、満足=4910)

	β	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
父が子とよく遊んでいる	0.478	0.095	25.422	1	0.000	1.61	1.34	1.94
出生順位が高い	0.120	0.059	4.045	1	0.044	1.13	1.00	1.27
ゆったりとした気分で子と過ごす時間がある	1.669	0.099	284.283	1	0.000	5.30	4.37	6.44
育児に自信が持てないことがある	-1.194	0.093	165.005	1	0.000	0.30	0.25	0.36
虐待をしているのではと思う	-0.431	0.102	18.010	1	0.000	0.65	0.53	0.79
配偶者が育児の相談相手	0.505	0.095	28.465	1	0.000	1.66	1.38	1.99
祖父母が育児の相談相手	0.202	0.088	5.281	1	0.022	1.22	1.03	1.45
保健師が育児の相談相手	-0.662	0.332	3.986	1	0.046	0.52	0.27	0.99
事故対策得点が1点上がる	0.011	0.003	10.465	1	0.001	1.01	1.00	1.02
妊娠出産満足度高い(とても満足+満足)	0.839	0.119	49.359	1	0.000	2.31	1.83	2.93
施策:思春期保健対策取り組んでいる	-0.269	0.096	7.786	1	0.005	1.32	1.09	1.59
施策:住民組織と妊娠中の喫煙対策取組んでい	0.374	0.218	2.934	1	0.087	1.45	0.95	2.23
施策:関係機関といいお産の普及	0.359	0.137	6.892	1	0.009	1.43	1.10	1.87
施策:産後うつ対策の充実	-0.200	0.061	10.893	1	0.001	0.82	0.73	0.92
施策:生活習慣病の実態把握	-0.142	0.059	5.709	1	0.017	0.87	0.77	0.97
施策:予防接種の実態把握	-0.214	0.104	4.196	1	0.041	0.81	0.66	0.99
施策:事故防止対策の充実	0.196	0.069	7.974	1	0.005	1.22	1.06	1.39

モデルカイ2乗 3505.5、Cox & Snell R² 乗 0.17、Nagelkerke R² 乗 0.30
 モデル予測の正分類割合 満足+まあ満足 97.8% 全体 87.4%

「健やか親子 21」推進の効果に関する研究

～育児支援に重点を置いた健診の実施と受診者の満足度～

糸数 公（沖縄県北部福祉保健所）

藤内修二（大分県福祉保健部健康対策課）

要 旨

【目的】育児支援に重点をおいた健診の実施状況を把握し、受診者の健診満足度との関係を分析することによって、今後の乳幼児健診のあり方を検討する。

【方法】「健やか親子 21」の中間評価のために収集された2つのデータ（①全国市区町村の「健やか親子 21」の推進に向けての取組状況，②人口規模別に無作為に抽出された182市区町村の乳幼児健康診査の受診者を対象に行われた子どもと親の健康状態と生活習慣に関するに実態調査結果）をリンクさせ、市区町村の育児支援に重点を置いた健診の実施が、1歳6ヶ月児及び3歳児健診受診者の健診に関する満足度に及ぼす影響を分析した。

【結果および考察】1歳6ヶ月、3歳ともに育児支援に重点を置いた健診に取り組んでいるところでは、「健診を信頼できて安心」と回答した割合が有意に低かった（オッズ比はそれぞれ0.755、0.787）。育児支援に重点を置いた健診を行っているとしても、その取り組みが受診者には反映されていない可能性が示唆された。今後は、受診者のニーズを把握し、目的や評価方法をスタッフ間で共有して健診を実施することが望ましい。

A. 目 的

健やか親子 21 を推進するためには、これまで疾病や障害の早期発見に主眼をおいて行われてきた乳幼児健診を、育児不安を抱える保護者たちへの支援の場として位置づける必要がある。具体的には、情報提供や相談、不安への対応、さらには仲間づくりなど、受診する親子のニーズに応じた形で実施することが期待されている。

全国の自治体調査により育児支援に重点を

おいた健診の実施状況を把握し、受診者の健診満足度との関係を分析することによって、今後の乳幼児健診のあり方を検討する一助となることを目的とする。

B. 方 法

「健やか親子 21」の中間評価のために収集された2つのデータ（①全国市区町村の「健やか親子 21」の推進に向けての取組状況，②人口規模別に無作為に抽出された182市区町村

の乳幼児健康診査の受診者を対象に行われた子どもと親の健康状態と生活習慣に関する実態調査結果)をリンクさせ、市区町村の育児支援に重点を置いた健診の実施が、1歳6ヶ月児及び3歳児健診受診者の健診に関する満足度に及ぼす影響を分析した。

解析にはSPSS10.0Jを用いた。

C. 結果および考察

抽出された182市区町村のうち調査に協力の得られたのは147市区町村であったが、市町村合併の影響があると考えられた31市町村を除いた116市区町村のデータを解析対象とした。1歳6か月児については、110市区町村の6,158人、3歳児については109市区町村の6,082人を解析対象とした。

育児支援に重点を置いた健診の実施と健診満足度(表)

1歳6ヶ月、3歳ともに育児支援に重点を置いた健診に取り組んでいるところでは、「健診を信頼できて安心」と回答した割合が有意に低かった(オッズ比はそれぞれ0.755、0.787)。また、その他の項目では、「決まりだから受けた」と答える割合が1歳6ヶ月、3歳ともに有意に高く、「知っていることばかりだった」と答えたのは1歳6ヶ月で有意に高いという結果であった。

また統計的な有意差はみられなかったものの、3歳児健診では「友達ができた」と答える割合が高い傾向であった。

D. 考察

自治体への「健やか親子21」の取り組み状況調査によれば、約9割近くが育児支援に重点を置いた取り組みを行っているという回答している。今回はその結果と、親と子の健康度調査に回答した1歳6ヶ月及び3歳の健診受診者が属する自治体とをリンクさせて分析した。その結果は、育児支援に重点を置いたと回答した自治体に属する親子の方が、健診に対して肯定的な意見を持つものが少なかった。特に「信頼がおけて安心した」「決まりだから受けた」「知っていることばかりだった」という項目については、統計的な有意差も生じた。

現在、大部分の市町村で育児支援に重点を置いた健診を行っているという回答している(1歳6ヶ月児88.4%、3歳児88.7%)。しかし、その取り組みが受診者の調査結果に反映されていない理由としては、健診内容が受診者のニーズに基づいていないため、スタッフの意図が受診者に届いていない可能性がある。また、健診の実施形態や地域性などに影響されていることも考えられ、今後さらなる検討も必要と思われる。

育児支援に重点を置いた健診の実施は健やか親子21の推進のために必要な取り組みの指標にも位置づけられているが、その具体的な内容についてはスタッフ間で話し合い、取り組む必要があると思われる。

沖縄県小児保健協会では、健診を受託している市町村と協働で、育児支援に重点を置いた乳幼児健診の実施に関する調査研究事業を行っ

た。そのなかで出口調査やヒアリングにより、受診者の健診に対するニーズを把握したり、スタッフ間で共通認識を持って健診にのぞむことが重要であるとしている。

育児支援のあり方については、問診などで個々が抱える不安を把握し、健診の流れの中で効率的な支援を行い、さらに保健指導の場で不安が軽減されたかの確認とその後のフォローについて話し合う方法が考えられる。また、保育士や地域の母子保健推進員を活用して育児に関するアドバイスを رفتたり、受診者が交流できる場を確保するなどの方法も行われている。今回の分析で育児支援に重点を置いた健診を実施しているとしている自治体の受診者が「友達ができた」と答える割合が高くなっていることから、健診を質的に変化させようと工夫していることが伺える。

乳幼児健診の実施方法については、集団から個別、さらには医療機関への委託など、様々な形式で行われてきている。いずれの形をとっても健やか親子21の推進に資する事業として位置づけ、地域のニーズに基づき、目的や評価方法をスタッフ間で共有して健診を実施することが望ましい。

【文 献】

1) 糸数公, 普久原朝政, 大城清子 (沖縄県小児保健協会 特別研究事業班): 乳幼児健診のあり方に関する研究 (報告). 沖縄の小児保健 32: 23-27, 2005.

育児支援に重点を置いた乳幼児健診の実施と受診者の満足度に関するオッズ比

		1歳6ヶ月児健診		3歳児健診	
		オッズ比	(95%信頼区間)	オッズ比	(95%信頼区間)
健診に対する満足度	信頼がおけて安心できた	0.755	(0.639 ~ 0.892)	0.788	(0.665 ~ 0.933)
	医師や保健師の話が勉強になった	1.089	(0.911 ~ 1.301)	1.115	(0.933 ~ 1.332)
	栄養士の話がためになった	1.094	(0.869 ~ 1.376)	0.929	(0.730 ~ 1.182)
	心理士の相談がためになった	0.632	(0.295 ~ 1.357)	1.694	(0.781 ~ 3.671)
	もっとゆっくりした時間が欲しかった	0.899	(0.706 ~ 1.144)	0.798	(0.621 ~ 1.027)
	個別の相談がしたかった	1.144	(0.737 ~ 1.774)	0.985	(0.649 ~ 1.495)
	決まりだから受けた	1.302	(1.020 ~ 1.661)	1.504	(1.201 ~ 1.882)
	知っていることばかり教えられた	3.107	(1.452 ~ 6.649)	1.327	(0.812 ~ 2.169)
	形式的だった	0.890	(0.724 ~ 1.094)	1.048	(0.855 ~ 1.285)
	友達ができてよかった	1.171	(0.780 ~ 1.757)	1.507	(0.947 ~ 2.399)